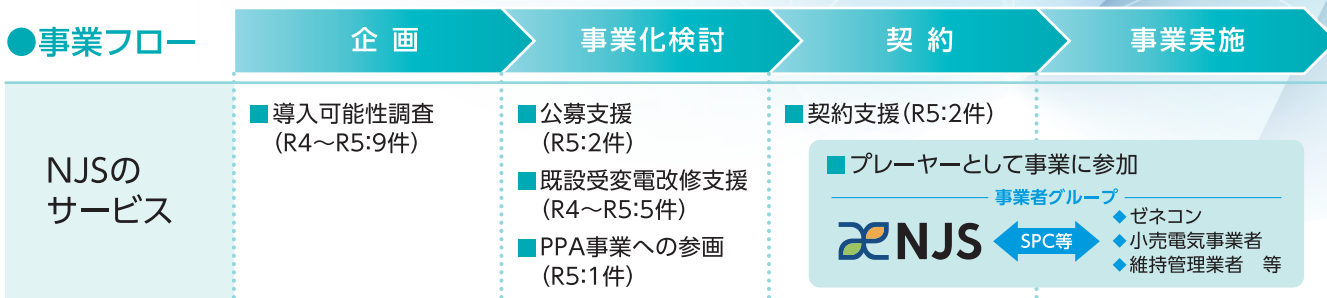


未利用地への太陽光発電事業導入のご提案

下水道2050脱炭素(CN)に向けてNJSがお手伝いいたします

NJSは、下水道施設の未利用地に再生可能エネルギーを導入する官側の支援として、導入可能性調査や公募・契約支援、既設受変電改修支援だけでなく、PPA事業者としての事業参画を進めています。



太陽光発電事業のPPA事業

下水道施設への太陽光発電PPA事業に事業者として参画

NJS(構成員)と前田建設工業株式会社(代表企業)は、2024年7月に「富士市東部浄化センター太陽光発電設備導入事業(PPA)」の事業契約を締結し、2025年10月から東部浄化センターへの電力供給を行う予定です。

富士市東部浄化センター 敷地平面図



：設置可能場所

施設概要

供用開始：平成2年4月
処理能力：55,800m³/日

太陽光発電設備設置可能場所

約29,300m²(左図の通り)

事業期間

令和7年9月末までに設備を導入
令和7年10月から電力供給を開始予定
太陽光発電設備は原則20年間
蓄電池設備は原則15年間

適用予定交付金

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金
(重点対策加速化事業 環境省)

設備条件等

太陽光発電設備の容量：PCS容量で800kW以上
蓄電池の容量：400kWh以上

※上記は富士市東部浄化センター太陽光発電設備導入事業(PPA)募集要項より抜粋

